

建設委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月4日

出席者	参加者	18人
	議会側	<p>【建設委員会】坂元委員長、木村副委員長、小池委員、落海委員、岡田委員、玉川委員、乗越委員</p> <p>【委員外議員】奥谷議長、中川副議長、下向議員、原田議員、向井議員、景山議員、北林議員、重森議員、牧尾議員</p>
開催日時	令和7年11月10日（月）14：00～15：30	
開催場所	豊栄生涯学習センター	
実施内容報告	議会報告	<p>テーマ</p> <p>地域の公共交通について</p>
	議会報告	<p>【地域の公共交通について】</p> <p>本会議、常任委員会、建設委員会の所管事項について説明した上で、本市の目指す都市交通の姿、バス交通の現状と課題について説明を行った。</p> <p>また、議会（委員会）における過去の質疑応答や、本年度の決算特別委員会建設分科会における来年度予算に係る要望事項として「地域の実情に即した安全で円滑な移動を確保するため、調査・研究を行うとともに、さらなる生活交通ネットワークの充実を図ること。」を挙げていることに触れ、議会におけるこのテーマについての動きについて説明を行った。</p> <p>なお、質疑応答はテーブルごとに意見交換の中で行うこととした。</p>
意見交換	テーマ	地域の公共交通について
	I 地域の公共交通について	<p>【相手方意見】</p> <p>公共交通は運賃が高すぎて年金生活者は病院に行くのも負担が大きく考えてしまう。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>高齢者の方たちに使用していただくための高齢者割引乗車券がある。</p>
	【相手方意見】	デマンド交通などは事前に登録し、予約制となっているため利用がしにくい。
	【議会側意見】	デマンド交通を取り入れている地域の意見には、最初は忘れることもあったが慣習化していくというものもある。

実施内容報告	意見交換	<p>【相手方意見】 他市町では100円バス（またはそれに近い安価なバス）があるが本市でも検討できないのか。</p> <p>【議会側意見】 一般質問でも質問されているが、本市は市域が広く多額の予算が必要であるとの説明があった。</p>
		<p>【相手方意見】 健康なうちは車を運転できるが、免許返納後や、動けなくなつたときのことを早くから準備したい。</p> <p>【議会側意見】 健康なうちに一度はバスに乗ることを経験してみることも必要ではないか。</p>
その他 特記事項 (感想・意見等)		<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会に来られた方々は自家用車で来場されており、運転免許証の返納をされた方や、免許証返納を考えておられる方の意見も聞く必要がある。 ・オンデマンド交通の運行ルートや今後の方向性について定期的に協議する必要がある。

建設委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月4日

出席者	参加者	39人			
	議会側	<p>【建設委員会】坂元委員長、木村副委員長、小池委員、落海委員、岡田委員、玉川委員、乗越委員</p> <p>【委員外議員】奥谷議長、下向議員、上田議員、向井議員、鈴木議員、田坂議員、石原議員</p>			
開催日時	令和7年11月12日（水）14:00～15:30				
開催場所	道の駅湖畔の里福富				
実施内容報告	議会報告	テーマ	地域の公共交通について		
	議会報告	概要	<p>【地域の公共交通について】 本会議、常任委員会、建設委員会の所管事項について説明した上で、本市の目指す都市交通の姿、バス交通の現状と課題について説明を行った。</p> <p>また、議会（委員会）における過去の質疑応答や、本年度の決算特別委員会建設分科会における来年度予算に係る要望事項として「地域の実情に即した安全で円滑な移動を確保するため、調査・研究を行うとともに、さらなる生活交通ネットワークの充実を図ること。」に挙げていることに触れ、議会におけるこのテーマについての動きについて説明を行った。</p> <p>なお、質疑応答はテーブルごとに意見交換の中で行うこととした。</p>		
			テーマ		
			地域の公共交通について		
	意見交換	I 地域の公共交通について			
		<p>【相手方意見】 高齢化が進み免許の返納を考えているが、バス停まで距離があり、返納後の移動手段に不安がある。</p> <p>【議会側意見】 福富地域の実情も踏まえ、今後の都市交通マスタープランに反映されるよう委員会でも取り上げる。</p>			
		<p>【相手方意見】 福富にはタクシーがなく、豊栄から呼ばなければならぬ。そのため、時間がかかり、タクシーの台数も少なく、救急車を呼ぶ人もいる。昔は広島バスセンターまで行ける高速バスがあつたが今は廃止となっている。</p> <p>【議会側意見】 市でいくら交通手段を用意しても、地域の皆様に利用していただけないと持続することは難しい。</p>			

実施内容報告	意見交換	<p>【相手方意見】 以前あったコミュニティバスは、乗車率が2%で廃止となった。地域に住む交通弱者は町内だけを運行するバスの利用者は少ない。</p> <p>【議会側意見】 市（県）の財源を入れる地域公共交通を検討している。現在3つの住民自治協議会が一緒に協議検討している。</p>
		<p>【相手方意見】 オンデマンド交通や乗り合いタクシーなど、地域に合った運行を早期に導入してほしい。</p> <p>【議会側意見】 オンデマンド交通の必要性は認識しており、実証結果を踏まえて制度化について委員会でも取り上げる。</p>
	その他 特記事項 (感想・意見等)	<p>【相手方意見】 過疎債（7割が交付税措置）をこういった交通事業の運営費に使えないのか。</p> <p>【議会側意見】 過疎債の利用も検討の一つだと思うが、市の担当課に聞くと過疎債は令和8年度予算までは利用することができるが、ソフト事業について基金に積み立てているものは、数年は利用できるが持続可能とはいいがたいとのことであった。</p> <p>【テーマの「地域の公共交通について」に関する意見】 ・高校生の登下校にバスがなく、祖父母が送迎している実態がある。 ・免許返納時のことを考えておくのがよいと思う。</p> <p>【テーマの「地域の公共交通について」以外の意見】 ・高齢化に伴い、市道の法面の除草や用水路の修繕、防草シートの配付についても課題がある。</p>